

# 会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例会/火曜日 12:30 庄原グランドホテル  
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号  
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500  
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

上野公園の桜(庄原市)

2012年11月6日例会記録

15号(865)

- 2012年11月13日のプログラム
- 次回のプログラム

健康サポート委員会担当  
ロータリー財団委員会担当

ゲスト紹介 米山奨学生 王丹さん

会長挨拶 滝川会長



## 「踊りの輪」

皆さん今日は。今日はこの庄原グランドホテルで感動した出来事のお話を致します。

ちょっと前の8月初旬の話ですが、このホテルで「サマービアパーティー」なるバイキング形式の食事をしながら、かつビールを飲みながらのコンサートがありました。

それは30年代に流行ったポップスを歌う女性4人組みによるコンサートでした。

ポップスとは皆さんご存じのアップテンポのピーナッツの「恋のバカンス」とか中尾ミエ、伊藤ゆかりの歌です。外国人ではポールアンカ、ニールセダカ、プレスリーの歌です。

数曲歌った後、ボーカルの女性が「客席の皆さん、前に出てきて歌に会わせて踊りませんか」と言いましたが、皆さんなかなか前に出て踊りません。

そこで私は丁度同じ席にいた仲間さんの手を取って前に連れ出し、曲に会わせてジルバを踊りました。するとどうでしょう。三々五々、前に出てきて踊り出したではありませんか。曲がスローに変わっても踊る人が絶えませんでした。その後私も仲間さんが連れてきていた部下の若い女性達と愉快地踊りました。

席に帰ると妻はある光景を見ていました。それはジルバが得意な年配の女性が彼女の席の近くの男性を誘って踊るのですが、男性が得意でないためじれったそうにしている光景でした。妻は突然私の処にその女性を連れてきて、「聖治さん、この方と踊ってあげて」と言われたので、ビックリしましたが、気持ちよく踊ってあげました。帰るとき、その方は丁寧に私に御礼の挨拶をされ、嬉しそうでした。

コンサートの終わり近くになって「ロコモーション」という曲が流れ出し、歌手の方が「さあ、肩を持って輪になって踊りましょう」と声をかけると、何と云うことでしょうか、ロータリーソングのエンディングの曲の「手に手を繋いで」ではありませんが、肩を繋いで踊る輪が出来たのです。

お互いを知らないお客同士が嬉しそうに肩を手でもって大きな輪を描いて踊っているのです。ちょっとしたきっかけで「こんな現象が起きるんだ!」と私はおおいに感動しました。

後で聞いたのですがグランドホテルで今までで、最高の盛り上がりだったそうです。

以上で会長の時間を終わります。



# 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長

田中作次

## 幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.14号
2. 庄原こどもミュージカル実行委員会より、お礼状
3. 庄原ライオンズクラブより、お礼状
4. 医療法人社団 聖仁会より、認知症講演会のお知らせ

## 出席報告

会員数 36名      出席者 34名      MU1名  
欠席者 1名      出席率97.22%

## スマイル報告

市川会員・・・北海道で行われる日本食味コンクールに3品種のお米を出品して、3品種全部入賞の通知がありました。

木原会員・・・10/23所用で休ませてもらいました。SAA市川さんご負担をおかけしました。

滝川会員・・・昨日、大山の紅葉をみてきました。大山から蒜山へ抜ける道の紅葉が大変きれいでした。自然の恵みに感謝！

田中五郎会員・・・米山委員会としての初仕事。ありがとう。

田中憲子会員・・・皆様、風邪をひかないように。しつこい風邪ですよ。

中原会員・・・寒くなりました。皆さんご自愛下さい。

平田会員・・・11月2日、米山学友会会員テリグンより電話があり、驚きと感動。第一声は、平田さん体調はと心配してくれ、涙の応答となりました。上海で勤めて会社の電話使用中、迎えに出ます。好きな所を案内します。安心して中国へ。再会したい(相手方)近況は、落ち着いてきたので手紙書きますと約束あり、楽しみに待ちます。孫のテリグンありがとう！

## ■創立20周年事業部会

角田部会長

先日、創立20周年記念事業のモニュメント設置の件で、北広島町に視察に行き、部会のメンバー8名にて協議させて頂きました。本日、依頼先の社長さんにお越し頂いてますので、例会終了後設置予定の市役所に出向き、設置に向けて進めていきたいと思えます。

## ■創立20周年実行委員会

森本実行委員長

創立20周年負担金20,000円のご協力宜しくお願いいたします。

創立20周年のテーマが決まりました。「思いは一つ 奉仕の心を地域に生かそう」です。

## ■プログラム

米山記念奨学会担当



## ゲスト卓話

米山奨学生 王丹さん

皆様こんにちは。4月から米山奨学生になって、今はもう7か月になりました。たいへんお世話になりました。心から感謝しています。なかなか皆様とお話が出来なくて、今日はせっかくの機会です、いっぱい喋らせて下さい。

私はラッキーな人だと思います。生まれてから、皆に愛されています。優しい母親、ちょっと厳しいですけど、私のために何でもしてくれる父親、親切なお婆ちゃん、お爺ちゃん、叔父さん、叔母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃんがいて、愛されて、とても幸せだと思います。でも自分だけで、幸せ



# 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長

田中作次

な生活をしてはいけないなと思います。自分が感じた幸せを皆に伝わって、自分に影響されて、周りの人も幸せを感じさせながら生活して欲しいなと思います。皆の生きている笑顔を見たいです。

今日は、私の父親と母親を皆様に紹介したいと思います。私の父は私と母に幸せな生活を送る為に、毎日一生懸命働いて、頑張っています。子供の時、ただ一つのことによって父に怒られました。それは私がご飯を食べない時です。ご飯を食べなかったら、大きく成らないので、怒られました。しかし泣いている私の様子を見て、父が情にもろいでした。そして私はあまりご飯を食べなくて、背が伸びなかったです。残念ですね。もっと伸びたいです。私は高校を卒業して、日本にいる姉に誘われて、日本がいい所だよといろいろ教えてくれて、それに私も若いうちにいろんなところに行ってみようが良かったと思いました。いろんな経験をして、いろんな人と出会って、自分も成長出来ると思いました。自立したかったです。日本に留学することを決めた時、母が「タンちゃんが決めたらいいよ、お母さんがなんでも応援するよ。タンちゃんが幸せだったら、母さんも幸せだよ」と言ってくれました。父は普段甘いことをあまり言わない人なのに、日本に来る前、私に「疲れたら、帰っていいよ、父さんがずっとタンちゃんの頼りになるよ」と教えてくれました。私は涙がはらはらと流れ落ちました。もし来生があれば、私また彼らの子供になりたいです。今私は日本でも家族がいます。皆様は私の家族です。

そして、日本に来て、私の留学生活を始めました。2008年8月31日の夜12時に広島空港に到着しました。「やった、ようやく日本に来ました」と、感激していました。その日の夜、姉につれて、初めて日本の店でご飯を食べました。周りの人が何を喋っているか全然分からなくて、どうしようと思って、私は本当にここで生きられるかと心配しました。その一週間後、姉の主人が京都に転勤するという事で引っ越して、私は一人で広島の生活を始めました。寂しくて、父、母、友達に会いたくて、涙が出ました。そして日本語学校で日本語を勉強し始めました。学校の先生がすごく優しくしてくれて、友達も出来て、慣れるようになりました。日本に来たばかりの時は「ありがとう」と「すみません」しか言えませんでした。アルバイトを探す時、大変でした。何回もバイト先に電話を掛かりましたが駄目でした。心が折れた時に、優しい中華料理屋さんの社長と出会って、アルバイトの機会をくれました。日本語を全然喋れない私に仕事をくれて、感謝しました。本当に日本に来て、近所のお婆ちゃん、学校の先生、バイト先の人たち、いろんな人からお世話をしてもらいました。感謝しています。日本語の勉強も生活も頑張りました。人間は生きているのは、決して自分の為だけではなく、愛する人と愛される人の為に生きて、頑張っていると思います。これこそ、意義があります。それに、目標をつけることです。目標を達する為に、頑張る動力があります。

一年半ぐらいに日本語を勉強して、県立広島大学を受けました。日本人と深く知り合い、日本人の考え方や日本の習慣をよく理解するのは県立広島大学に入ってからです。学校で日本人の友達がいっぱいできました。剣道は日本の伝統的な文化なので、剣道部に入りました。剣道の事やルールなどを教えてくれました。パーティや飲み会がある時も誘ってくれました。楽しかったです。一年生の時、学校の寮で住みました。皆と一緒に生活し、一緒にお風呂に入りました。でも最初の時は恥ずかしかったです。最初の時は、あまりお風呂が好きではなかったです。熱すぎて、のぼせました。でもどんどん慣れて、好きになりました。今年の冬休みに、先輩に連れてもらって、九州の別府に行きました。温泉がいっぱい入りました。気持ちよくて、肌に良くて、日本の温泉が最高です。温泉だけじゃなくて、春の桜、秋の紅葉、きれいすぎて、そんな美しい日本にきて良かったです。水もきれいだし、そのまま飲めます。びっくりしました。道の中もきれいだし、ゴミは全然ありません。日本は世界一番住みやすいところだと思います。いつか是非父と母を日本に連れて、日本の美しさを見せてあげたいです。

そして今年の4月にロータリークラブ米山奨学生になりました。とてもラッキーだと思います。米山奨学生としては光栄なことです。自分を認められてくれて、嬉しいです。社会奉仕をしている皆様と出会って、自分の人生も変えるのではないかと考えています。もっともっと皆様の様に、社会を奉仕する、関心を持つ人がいれば、この社会はもっと美しくなれると思います。皆様ありがとうございます。毎月10万円の奨学金をくくまして、本当に助かりました。勉強する時間がいっぱい出来まして、ありがとうございます。人を助かるのはまず自分が強くなります。自分が強くないと、何も力になれないでしょう。私は今皆様から恵みを受けて、将来自分が強くなって、社会を奉仕したいと思います。庄原にきて、皆様と出会って、良かったです。今年最高の一年です。庄原はすごくいいところだと思います。庄原しか見えない青い空、すがすがしい空気、緑が多く、単純な人々、それは庄原しかない風景です。

大学を卒業したら、大学院を受けたいと思います。もっともっと日本のことを知りたいです。夢を叶えるように頑張りたいと思います。

御静聴ありがとうございました。



1954

